

教科名	地歴	単位数	3単位(週3コマ)	担当者	大場 昂
科目名	世界史探究	学年・学級	3年次選択		
使用教科書 副教材等	・ 詳説世界史（山川出版） ・ 資料集：新詳世界史ニュービジュアル版（浜島書店） ・ ウィニングコンパス（とうほう） ・ 世界史10分間テスト（山川出版）				
1 学習の到達目標（何ができるようになるのか）					
世界の歴史の大きな枠組みと流れを我が国の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 ・ 世界の歴史を各地域・時代毎に探究・理解し、歴史的思考力を身に付けることができる。 ・ 世界の歴史を「要因・経過・結果・影響」などそれぞれ理解し、科学的にまとめることができる。 ・ 歴史を科学的に分析する力を身に付け、広い視野から物事を考察し、俯瞰的に未来を創造することができる。					
2 学習の評価（評価基準と評価方法）					
観点	a,関心・意欲・態度	b,思考・判断・表現	c,資料活用の技能	d,知識・理解	
観 点 の 趣 旨	学習活動を通じ世界の諸地域の歴史過程や文化、その交流に関心を持ち、学習活動に自ら積極的に学ぶ姿勢を養う。	世界の諸地域特有な民族・風土・文化を自ら考察し理解を深め、継続する歴史過程を適切に洞察する能力を身に付ける。	教科書や諸資料から適切な情報を読み取り、年表・地図の作成や参考書への記述、授業での発言で理解を深めることができる。	各地域の歴史（縦軸）とその伝播・交流（横軸）の交差として捉え、すべての要素により世界史が成立していることを理解する。	
主 た る 評 価 方 法	行動の観察 授業プリント作成 生徒の自己計画作成 課題等提出 （10分間テスト、ウィニングコンパス）	行動の観察 定期考査・単元テスト 単元振り返り （単元ごと振り返り） 生徒の自己計画到達度 生徒の自己評価	模試や大学入試の過去問 研究 単元振り返り記述の内容	定期考査 小テスト 生徒の自己評価	
3 学習の目標と振り返り					
	《目 標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容							
学 期	学習内容 (単元)	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c	d		
前 期	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	○	○		○	a. 近代中国・イスラム社会の法、制度の意義、周辺諸国との関係を理解できる。	a. 行動の観察
	第10章 アジアの諸帝国の繁栄	○	○		○	b. 文化の違いを捉えることができる。 d. 近代中国・イスラム社会が周辺諸国に与えた影響、異民族支配方法を理解している。	b. 単元振り返り。 c. 課題提出(10T, WC) d. 自己計画到達度
	第9章 大交易・大交流の時代	○	○			a. 大航海による世界一体化が理解できる。 b. 大航海が果たす歴史的意義を把握する。	
	【単元テスト】	○			◎	a. 自己評価に対する評価ができていない。 d. 考査に対し計画的に学習できたか。	a. 自己評価 d. 単元テスト
	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	○		○	○	a. 中世を終わらせたルネサンス・宗教改革の意義を理解できる。 c. 近世文化成立背景を捉えることができる。 d. 主権国家体制の成立を各国毎まとめる。	
	第12章 産業革命と環大西洋革命	○	○			a. 産業革命の背景と影響を理解できる。 b. 市民革命(アメリカの独立, フランス革命)の背景・進展・影響(ラテンアメリカ)を理解できる。	
	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	○		○		a. ウィーン体制と自由・国民主義を理解できる。 c. 国民主義の波及を地図上で理解できる。	
	第14章 アジア諸地域の動揺	○	○			a. 西アジアに対する西欧列強の侵略を理解できる。 b. オスマン帝国の改革とアジアの植民地化過程を理解できる。	
	【第2回定期考査】	○			◎	a. 自己評価に対する評価ができていない。 d. 考査に対し計画的に学習できたか。	a. 自己評価 d. 定期考査
後 期	第15章 帝国主義とアジアの民族運動	○	○			a. 列強諸国による世界分割の過程を理解できる。 b. 中国の半植民地化、清の延命策、辛亥革命に至る過程を理解できる。	a. 行動の観察 b. 単元振り返り。 c. 課題提出(10T, WC) d. 自己計画到達度
	第16章 第一次世界大戦と世界の変容	○	○			a. 第一次世界大戦の背景、経過、影響を理解できる。 b. 世界恐慌、その後ファシズムの出現した背景を理解できる。	
	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	○	○			a. 第二次世界大戦の背景・経過・影響をまとめ理解できる。 b. 新しい国際秩序を理解できる。	
	第18章 冷戦と第三世界の台頭	○	○		○	a. 東西対立の構造(冷戦構造)を理解できる。 b. 米ソ対立の間で、第三世界諸国が独自の立場で外交を展開したことが理解している。 d. 米・ソ両大国の動揺と国際経済の危機を理解している。	
	第19章 冷戦の終結と今日の世界	○	○			a. 冷戦の解消と世界の多極化とソ連・東欧社会主義圏の解体を理解できる。 b. 情報化、核エネルギー、環境問題など現代社会の課題について考察できる。	
	【第3回定期考査】	○			◎	a. 自己評価に対する評価ができていない。 d. 考査に対し計画的に学習できたか。	a. 自己評価 d. 定期考査
	演習	○	○	○		a. 自ら立てた演習目標に向けて、実践できている b. 今までの知識が演習問題に取り組む際、応用できる。	